

## ① 不登校児童生徒への支援について

本町の小中学校の不登校の児童生徒へのケアについて、そして不登校児童生徒の義務教育終了である中学校卒業後のケアについて以下の質問をします。

- (1) 本町の不登校の児童数の状況はどうか。また、適応指導教室「いぶき」、放課後デーサービス、フリースクールの利用者数はどうか。
- (2) 不登校の児童生徒が学校復帰する際に、学業の遅れが妨げになると思われる。学校に出席していない期間の学業支援についてはどのようなものがあるか。
- (3) 過去の議事録の中に、国の方針では不登校の児童生徒が学校復帰することがゴールではなく、社会的自立に即した協力体制をとっていくとありました。社会的自立まで協力するためには中学卒業後も継続してケアしていくことが重要だと考えるが、本町の取り組みはどうか。
- (4) 不登校児童生徒の保護者の相談などの支援はどのようなものがあるか。

## ② 浦上水源地内にある雑木林について

道の尾にある蓬莱橋の交差点から昭和町方面へ200メートルほどのところに、浦上水源地の水際と道路との間に雑木林が生い茂り、見通しが悪いカーブがある。高田南土地区画整理事業での三千隠線の浦上水源地側の終点近くであることから、これからますます交通量が増えると思われる場所です。また、浦上水源地を水源の一部とする長崎市・長与町共同浄水場整備事業が予定されていることから、このタイミングでこの雑木林を撤去できないかとの思いから以下の質問をします。

- (1) 雑木林の土地の所有者は誰か。
- (2) 現在、道の尾グラウンドではサッカーやソフトボール、高齢者のグラウンドゴルフなどのスポーツ利用や、精霊流しや鬼火焚きなど地域の方々にとって大切な広場となっているが、長崎市との新浄水場の建設に伴い、使用できなくなる予定である。また、新浄水場の水源として浦上水源地から取水する予定となっていることから、この雑木林を整地して、災害時に避難所として使用できる防災親水公園として、現在の道の尾グラウンドと同様の使い方が出来る公園を整備する考えはないか。